

## 食中毒発生概況について

- 1 探知 令和5年7月18日（火）午前9時15分頃、竜ヶ崎保健所管内の医療機関から「キノコを喫食して食中毒様症状を呈した患者2名を診察した。」旨の連絡が竜ヶ崎保健所あてに入った。
- 2 事件の概況 竜ヶ崎保健所の調査によると、患者は令和5年6月中旬頃に自宅周辺の山林で採取したキノコを冷凍保管した。令和5年7月15日（土）午前6時頃に当該キノコを炊き込みご飯として調理し、喫食したところ、2名とも食後30分程でめまい、吐き気等の症状を呈した。  
調理品の残品に含まれていたキノコを鑑定したところ、食用のハタケシメジと毒キノコの「ヒカゲシビレタケ」が混ざっていることが判明した。竜ヶ崎保健所は、患者の症状及び潜伏期間がヒカゲシビレタケによるものと一致したこと、医師から食中毒患者届出票が提出されたことから、本日、ヒカゲシビレタケを誤食したことによる食中毒と断定した。  
なお、患者2名のうち1名は入院しているが、いずれも快方に向かっている。
- 3 採取場所 患者自宅周辺の山林（阿見町）
- 4 調理摂食場所 患者自宅（阿見町）
- 5 原因食品 7月15日（土）に自宅で調理した炊き込みご飯（ヒカゲシビレタケ）
- 6 病因物質 植物性自然毒（ヒカゲシビレタケ）
- 7 発生原因 患者がヒカゲシビレタケを食用のハタケシメジと誤認して喫食したため。
- 8 発生日時 令和5年7月15日（土）午前6時30分頃
- 9 摂食者数 2名（男性：1名 70歳代、女性：1名 60歳代）
- 10 患者数 同上
- 11 主症状 めまい、吐き気 等
- 12 検査状況 調理済みの炊き込みご飯：1検体  
県林業技術センターの鑑定の結果、「ヒカゲシビレタケ」と同定された。

## 【茨城県内における毒キノコによる食中毒発生状】平成26年次～令和4年次

発成年次	発生件数	病院物質	患者数
平成26年	1件	タマネギモドキ	1名
平成27年	2件	クサウラベニタケ、ミネシメジ等	7名
平成28年	3件	クサウラベニタケ、ツキヨタケ	10名
平成29年	1件	コテングタケ	1名
平成30年	3件	ツキヨタケ、ドクカラカサタケ、カキシメジ	3名

※平成31年次～令和4年次は発生なし

## 県民の皆さまへ

**毒キノコ、有毒植物の誤食に注意しましょう！**

食用と確実に判断できないキノコや植物は絶対に

**「採らない！ 食べない！ 売らない！ 人にあげない！」**を徹底しましょう。

〇ヒカゲシビレタケについて 厚生労働省 HP「自然毒のリスクプロファイル」より

発生時期	春～秋
発生場所	公園、林の日陰部分に発生
間違いやすいキノコ	シロマツタケモドキ、ハラタケ、ツクリタケ 等
症状	中枢神経系の幻覚症状（幻覚、知覚麻痺、酩酊等）
毒性成分	シロシビン、シロシン
全国の発生状況と患者数	2010年 1件（1名） 2012年 1件（2名）

〇厚生労働省HP「自然毒のリスクプロファイル」

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/poison/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/poison/index.html)

〈ヒカゲシビレタケの写真〉 厚生労働省 HP「自然毒のリスクプロファイル」より



〈ハタケシメジ（食用）の写真〉 厚生労働省 HP「自然毒のリスクプロファイル」より



<実際の写真> 調理品の残品



左：ハタケシメジ（食用） 右：ヒカゲシビレタケ



ヒカゲシビレタケ